

厚生労働科学研究費補助金事業

# 認知症対策 総合研究



公益財団法人 長寿科学振興財団

## 認知症対策総合研究とは

急速な高齢化とともに、認知症患者数は増加の一途をたどっており、医療・福祉の両分野が連携した総合的な対策を進める上で、「実態把握」、「予防」、「診断」、「治療」、「ケア」の観点に立ってそれぞれ重点的な研究を行います。

(1) アルツハイマー病の根本的治療薬の開発に関する研究

(2) 認知症のケア手法の開発に関する研究

(3) 認知症の鑑別診断と治療に関する研究

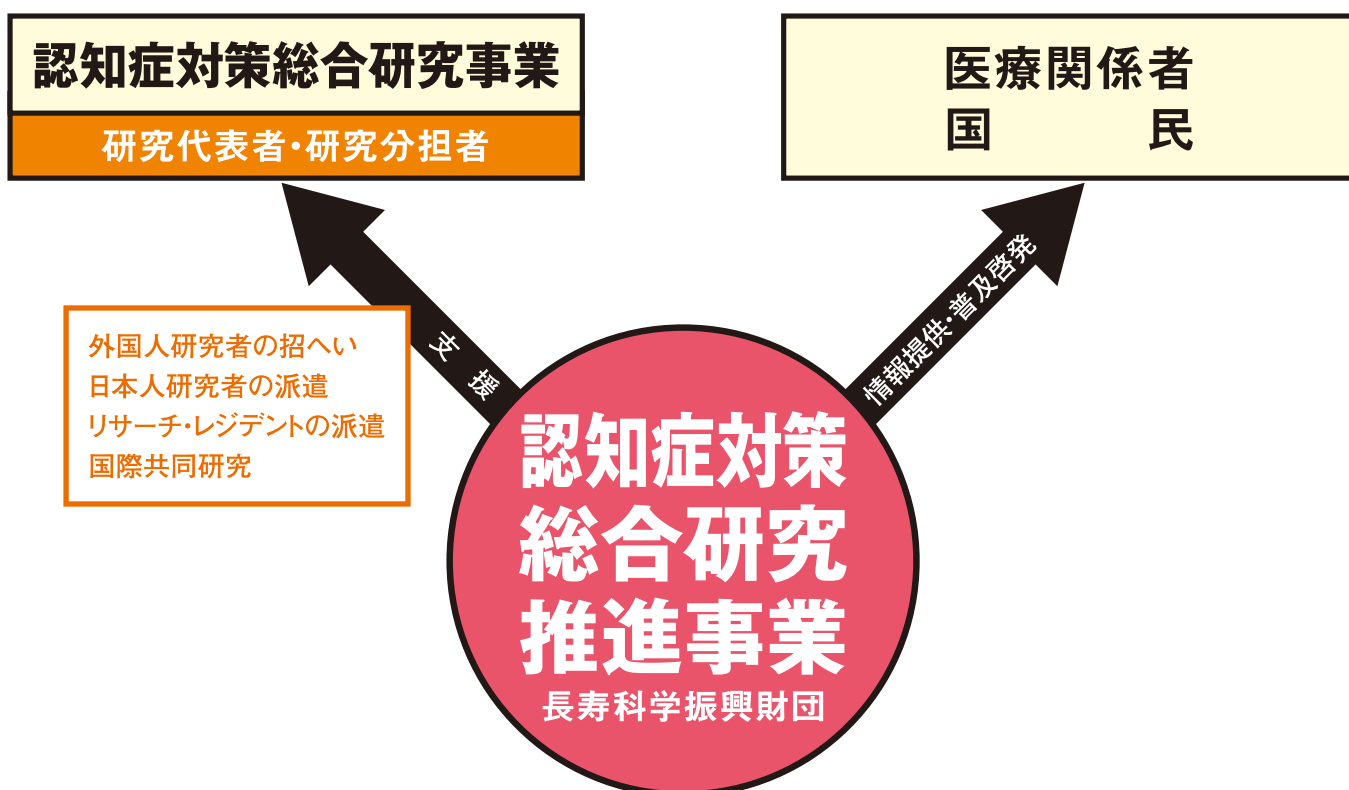
なお、本財団はこの認知症対策総合研究に関する推進事業を担当し、研究の支援をしています。

## 認知症対策総合研究と推進体制

### 厚生労働科学研究推進事業費による公募について

長寿科学振興財団では、厚生労働科学研究費(認知症対策総合研究)で研究課題を公募し、応募採択された研究者を対象に次の事業を行っています。この公募の案内は、関係する研究者に通知するとともに、財団ホームページ(<http://www.tyojyu.or.jp>)にも掲載しています。

- 外国人研究者招へい事業
- 外国への日本人研究者派遣事業
- 若手研究者育成活用事業(リサーチ・レジデント)
- 国際共同研究事業
- 研究成果等普及啓発事業



# 厚生労働科学研究費補助金による研究内容の一部を紹介します

## 認知症治療を目的とした変異型オリゴマーアミロイドペプチドを抗原とする神経免疫療法の開発

### アミロイドペット検査で脳画像診断をしてみました

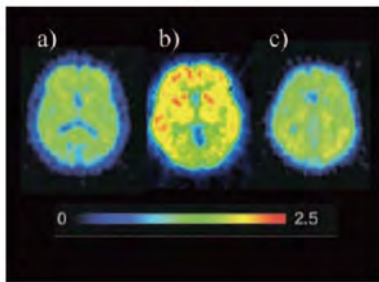


病院での脳検査



実験室での  
ネズミ実験

アルツハイマー病の患者さん



- a) 正常高齢者
- b) アルツハイマー病(アミロイド線維とアミロイド異常会合体が混合している)
- c) 変異型アルツハイマー病患者(アミロイド線維がなく、アミロイド異常会合体だけである)

### 今回わかったこと

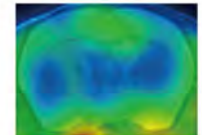
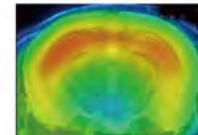
アミロイド線維がなくても、アルツハイマー病になることがわかりました

### 今後すべきこと

真犯人であるアミロイド異常会合体を検査したり、減らす治療開発へ進みます



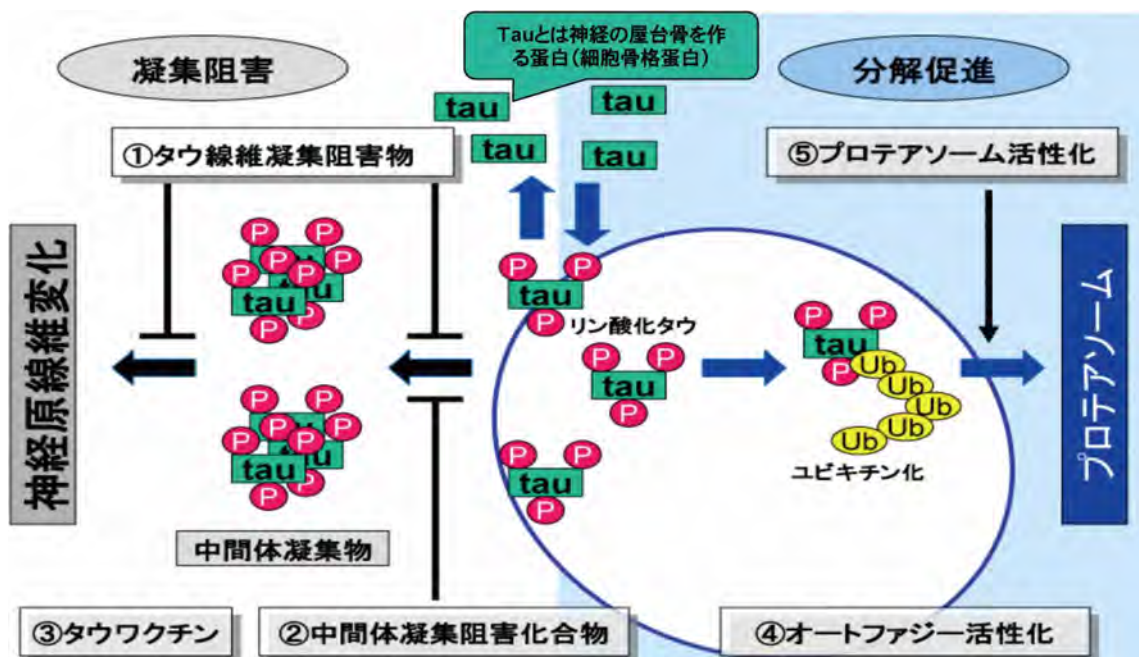
アルツハイマー病モデル  
(左)通常型と(右)変異型



赤色(線維状アミロイド)の有無に関係なく認知症が発症することがわかりました

森 啓 | 大阪市立大学大学院医学研究科 教授

## リン酸化タウ凝集阻害及び分解促進を標的とした新しいアルツハイマー病の根本治療法に関する研究



- アルツハイマー病の治療薬開発は、病理変化の老人斑につながるアミロイドに関して、主に進められてきました。
- 本研究は、視点を変えて、もうひとつの病理変化である神経原線維変化につながるタウについての治療法開発です。
- アルツハイマー病では、タウはリン酸化を受けて凝集していき、神経原線維変化となって、神経変性をおこします。
- 本研究では、まずタウを凝集させない方法はないかという点で進められています。
- また、タウ自身をオートファジーという生理的な分解機構を促進して、少なくする方法はないかという点でも進められています。

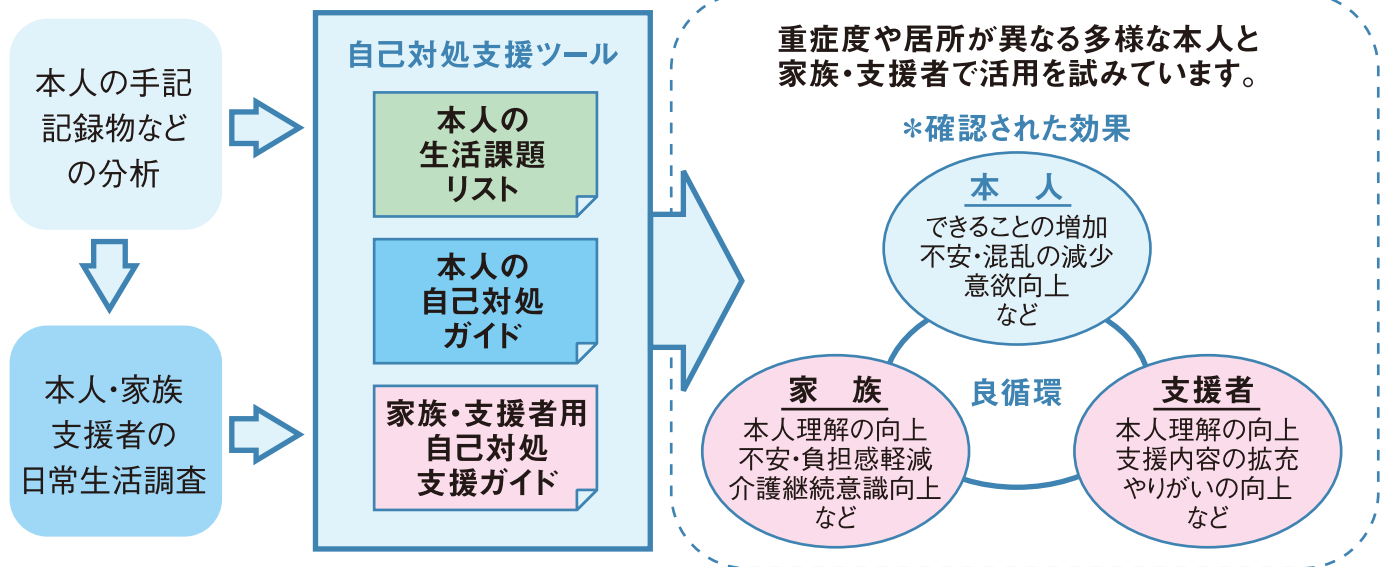
武田 雅俊 | 大阪大学大学院医学系研究科 教授

# 厚生労働科学研究費補助金による研究内容の一部を紹介します

## 認知症の本人の自己対処と生活支援に関する研究

認知症の本人自身が、直面する生活上の課題に自分の力で対処しながら、自分らしい暮らしを続けていくことを支援するための「自己対処支援ツール」の開発を目的としています。

認知症本人の自己対処を支えるツールはこれまでありませんでした。



永田 久美子 | 認知症介護研究・研修東京センター 副部長

## 要介護認知症の危険因子・抑制因子の探求に関する前向き疫学研究

# 認知症予防のため、認知症と関連する要因・生活習慣の調査を進めています。

### ▶ 認知症になりやすい人

- 高血圧
- 高コレステロール血症
- 糖尿病
- 喫煙者

・これらは動脈硬化との関連が強いため、動脈硬化予防が認知症予防にもつながる可能性があります。

### ▶ 認知症になりにくい人

- 血液中の $\alpha$ リノレン酸が高い人

・ $\alpha$ リノレン酸は、シソ油、エゴマ油、アマニ油などの植物油に多く含まれています。

山岸 良匡 | 筑波大学医学医療系 講師

## 認知症ケアの国際比較に関する研究

日本における「認知症ケア総合推進策」を確立していくための指針や具体的方法を提示するために、認知症に関する国レベルの戦略やプログラム等を示している国々の理念・制度・ケアサービスを総合的に分析しています。

主に以下の2点に重点を置き、6か国を対象に研究を進めています。

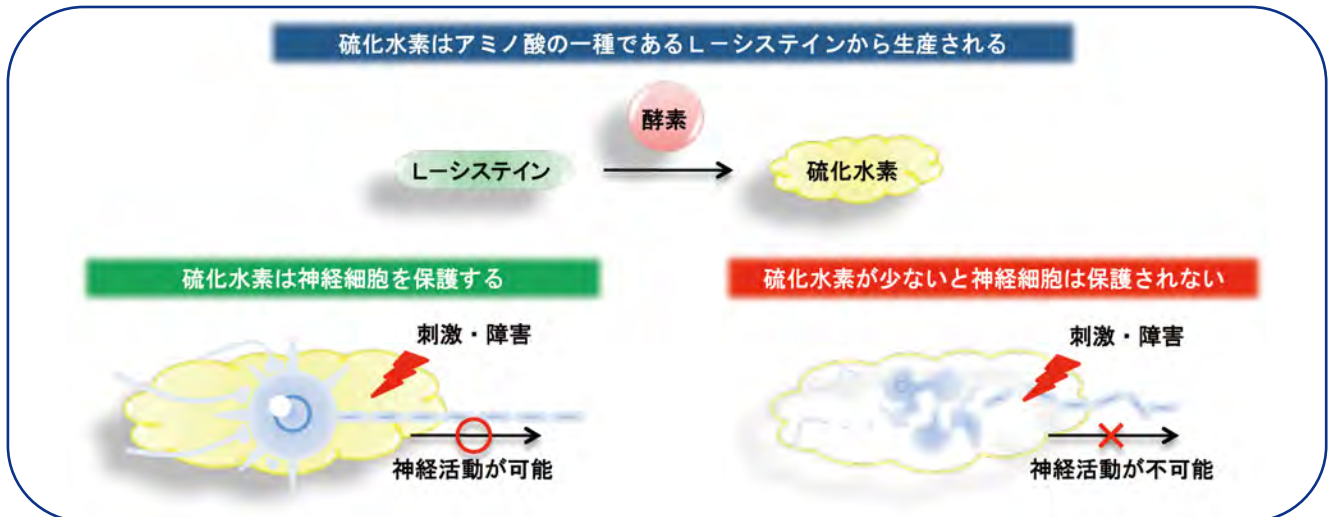
- 初期からターミナルまでを踏まえた総合的な認知症ケア
  - ・ステージごとの各国共通の基盤的政策、各国独自の政策の把握
- 認知症の人・家族を支える「ケアの連続性」の担保のあり方
  - ・認知症ケアの専門職、関連機関の連携や多職種チームの実態把握
  - ・認知症ケアにおける保健医療福祉の連携の状況（下記の図を参照）



中島 民恵子 | 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 主任研究員

## 認知症の新規治療法開発に向けた硫化水素の動態に関する研究

硫化水素には神経細胞を保護する働きがあることがわかってきました。本研究では、硫化水素に着目した新たな認知症治療法の開発を目指しています。



1. 認知症脳における硫化水素の生産・貯蔵・分解を解析
2. 脳内硫化水素の適正量を把握
3. 硫化水素の標的因子を同定

分子標的を定めた新規治療法の開発へ

## 公益財団法人 長寿科学振興財団とは

本財団は、国立長寿医療センターの設置とともに、国の「高齢者保健福祉推進十か年戦略」の重要な柱として位置付けられ、各界からの幅広いご支援のもとに、我が国の長寿科学研究を側面から支援する財団として、平成元年12月に設立されました。

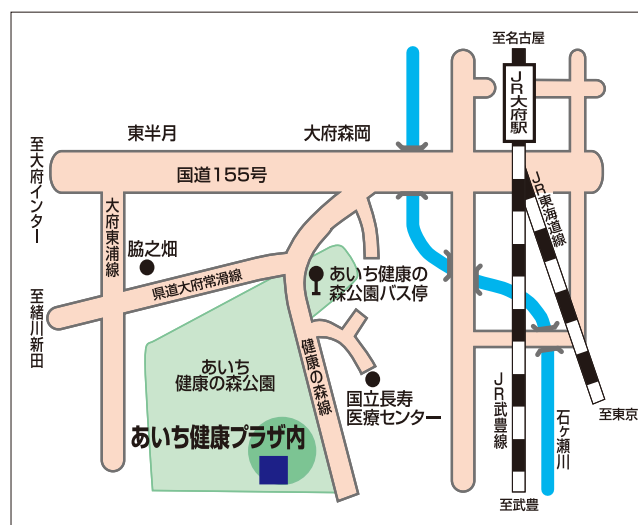
本財団には、昭和天皇の一周年祭にあたり、天皇陛下・皇太后陛下から、長寿科学研究推進に資する思し召しにより、昭和天皇の御遺産から、更に平成13年4月には、香淳皇后の御遺産から御下賜金が賜与されました。

世界一の長寿国である我が国において、長寿科学研究の振興は、極めて重要な事業であることから、厚生労働科学研究の各種推進事業の遂行に努力し、これからも『明るく活力ある長寿社会』の構築に、貢献して参ります。



## 公益財団法人 長寿科学振興財団

<http://www.tyojyu.or.jp>



公益財団法人 長寿科学振興財団

〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山1番地1

あいち健康の森 健康科学総合センター4階

TEL.0562-84-5411 FAX.0562-84-5414

E-mail:soumu@tyojyu.or.jp